

第 20 回美しい農村環境写真コンテスト作品評

特別審査員：田村民雄 氏（日本写真文化協会）

（撮影者：敬称略）

★ 最優秀賞（知事賞）

「若い力」



（撮影場所：八街市沖 撮影者：伴 博之）

後継者不足に悩む我が国において、いかに若い労働力を確保するかが課題でしょう。八街は落花生の生産において日本一と伺いました。その落花生の生産に従事する若者の姿を、ローアングルで、レンズを意識させない見事なカメラワークで力強い作品に仕上げました。青空に白い雲が効果的です。

★ 千葉県土連会長賞

「里山の御輿渡御」



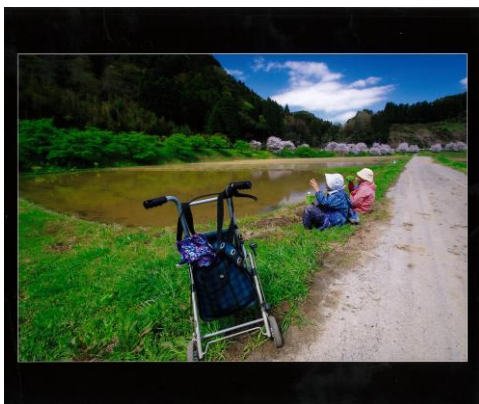
（撮影場所：館山市神余 撮影者：小宮 晃）

5月のお祭りと言うと豊作を願うお祭りでしょうか。見事に晴れ渡った空の下、整然と進みお御輿と行列が早苗田に映り込み、春5月の青空と相まっの素晴らしい条件の下、巧みな画面構成で作品に仕上げられています。

★ 特別賞

【第20回記念審査員特別賞】

「一息」



(撮影場所：大多喜 撮影者：牧元 晴美)

田植え前の田んぼの見回りでしょうか。満開の桜見物でしょうか。それにしても現在の日本の農業状況を垣間見た作品です。二人の表情も会話も分かりませんが、お茶を飲む仕草や手の仕草から、楽しいことを話していることが想像できます。素晴らしいシャッターチャンスと、手前に配したシルバーカーが遠近感を作り出しております。

【千葉県農村振興技術連盟賞】

「円筒分水」



(撮影場所：多古町船越 撮影者：小栗山秀男)

非常に貴重な歴史ある施設と伺いました。私は見たことがないのでどのような場所で設置してあるのか分かりません。しかし、どのような歴史的な貴重な施設であっても、写真にする場合は、その施設の役目・目的を表現することが大切です。

【千葉県農地・水保全管理協議会賞】

「6時58分発」



(撮影場所：香取市加藤州 撮影者：石井 昌良)

香取市にも新幹線が走っているのかと一瞬勘違いするような見事なスローシャッターで列車の走りを流しています。それと計算された黄昏時の微妙な色彩と、風の状態の早苗田に映り込んだ列車の光跡と街灯の明かりが印象的な作品に作り上げております。

【ちば水土里支援パートナー賞】

「里の秋」



(撮影場所：香取市栗源 撮影者：西宮 明)

見事な柿の木ですね。これだけ色づいてたわわに実っているのは、渋柿だからですね。それにしても作者は素晴らしい光線状況の中、巧みな構図でシャッターを切り、見事な作品に仕上げしております。ただ、柿を見上げるお祖母ちゃんと二人のお孫さんの表情がマッチしていたらな～と思いました。

★ 金賞

「黎明麦畑」



(撮影場所：八街市文違 撮影者：牛込 金次)

麦秋と霧の中に明けゆく、微妙な色調の朝の光を巧みに捉えております。多分偶然出会った状況ではないと思います。何度も通つての出会いのような気がします。僅かに残る霧が住宅街と電柱を和らげ、遠方の森をも和らげ、麦秋を引き立てております。見事な観察力での作品です。

★ 銀賞

「どんど焼き」



(撮影場所：印旛郡栄町安食 撮影者：下谷 一成)

小正月に行う行事。門松、竹、しめ縄などを焼き一年の無病息災と幸せを願う行事を撮った作品ですね。われ先と差し出す棒の先についた餅が円形構図になり、僅かな残り火に立ち上る炎に群がる人々の表情が印象的な写真となっております。画面上部の人々の表情が見えるとより良かったと思います。

「収穫をよろこぶ天使」



(撮影場所：君津市 撮影者：三沢 貞夫)

まるで、秋の田んぼの中でのファッションショーですね。お揃いの長靴を履いているところを見ると姉妹ですかね。澄み切った青空の下での素晴らしい記念写真になりましたね。子ども達の表情がよいのはおじいちゃんの撮影ですか。後方にコンバインと稲刈りをする人を入れた演出が憎いですね。

★ 銅賞

「鯉のぼりの下で」



(撮影場所：香取市山田 撮影者：田村 雅彦)

単調な田植え作業も多くの鯉のぼりに見守られて、さぞはかどったことと思います。風の状態が鯉の泳ぎを止め、その姿が田植え前の水を張った田んぼに映り込んでいる状況となっております。着眼点が見事です。ただ、田植えをしている方の顔が黒くつぶれているのが惜しいです。

「棚田の春」



(撮影場所：大網白里市内 撮影者：上出 善治)

のどかな田園風景ですね。赤い鳥居が印象的な写真です。住民の皆さんを見守り、豊作を祈ってくれているのでしょうか。田植えをするご夫婦のタイミングの良い距離感と動作がこの写真を引き立てております。ただ、手前の水を張った田んぼの面積を少なくすると良いと思います。

「チーバ君、今年も豊作だね」

(撮影場所：手賀沼遊歩道横 撮影者：高宮 絹子)



千葉県シンボル、チーバ君。フナッシー君に負けないくらい有名になり、頑張っしてほしいですね。この写真はチーバ君が主役ですね。チーバ君が見守っているから今年も豊作間違いありません。微かな風で稲穂の動きは効果的ですが、もう少しコントラストのある作品に仕上げてください。斜光、逆光の時間帯に撮るとか。

★ 佳作

「小戸の初牛」



撮影場所：南房総市
撮影者：山口 正明

子どもの表情、手の動きを巧みに捉えております。特に多少ぶれた手の動きは動感を感じます。観客の入れ方も良いですね。ただ、ストロボは使用しないで臨場感を出すように。

「里を見守る」



撮影場所：八千代市
撮影者：小野 敏明

背景の朝霧が印象的な写真です。手前の畑は放置農地でしょうか。雑草を刈り取った後とエノコログサが象徴しております。鎮守様は何を思っているのでしょうか。

「ちびっ子田植え体験」



撮影場所：山武市実門
撮影者：越川 征雄

オットト・・・良いシャッターチャンスで捉えましたね。子ども達はお手伝いというより遊び気分でしょう。大きくなって思い出し、農業に興味を持ってくれるとうれしいですね。

「町花満開、休耕地」



撮影場所：白子町
撮影者：君塚 彰

見事なヒマワリですね。基本的な9:1 構図で画面構成をしており、非常に見やすい作品に仕上げております。ただ、力強さに欠けているのは光線の関係で、今回は逆光・斜光線で撮ってみてください。

「うれしい収穫」



撮影場所：旭 市
撮影者：嶋田 洋

お母さんのお手伝いをするお嬢さんの表情をうまく捉えております。お母さんの笑顔が幸せを感じます。少々ピンボケ(後ピン気味)が気になります。ピントはしっかり。

「帰 路」



撮影場所：旭 市
撮影者：小阪 欽哉

山吹色に染まった大空に舞う鳥を美しい写真に仕上げております。12 月に故郷に帰る鳥は何という鳥でしょうか。部屋に飾ると引き立つ写真ですね。

「実りのはじまり」



撮影場所：木更津市
撮影者：伊藤 洋子

なかなか目に触れることのないお米の花を、マクロレンズでしっかり撮っております。絞り効果を生かし、背景を綺麗にぼかしております。

「萌える里」



撮影場所：君津市豊英地先
撮影者：勝間 憲一

桜の花から新緑へと移り変わる一番春を感じる時期に訪れた里での写真ではないでしょうか。この写真から柔らかな春の光をも感じ取れます。作者はここに住む住人でしょうか？

「雪 晴 れ」



撮影場所：君津市
撮影者：加賀 君子

山々に囲まれた棚田の雪景色。せつかくの雪なのでもう少し早起きをしてカメラを持ち出せば良かったですね。棚田に絞り込んで撮った方がよいですね。

「夏美人のシルエット」



撮影場所：君津市
撮影者：鈴木 由美子

木立アオイの花を美人に仕立てるとは、きっと美の感覚のある方ですね。梅雨時期の一瞬の晴れ間の茜色の微妙な光にマッチさせた絵画的な作品ですね。